

令和7年度 消防局X方針について

■ 局区X方針とは

(概要)

局長・区長等を中心に局・区の経営的課題を自己点検し、変革課題とその解決に向け当該年度の取組事項を定めたもの。

(目的)

- ・局長級職員のリーダーシップ発揮による自律的な変革の推進
- ・局内職員への変革マインドの意識づけ
- ・外部公表による市政変革に関する市民への理解浸透と検討過程の透明性の確保

なお、取組みの進捗によって、抽象的な課題がより具体化した場合等で、課題の追加・変更が必要となれば、進捗等の公表にあわせて、適宜X方針を修正する。

■ 消防局X方針について

(1)課題数 全6件

課題領域	Aレベル	Bレベル	Cレベル
課題数	1件	3件	2件
政策分野	人材育成、組織運営	救急、警防、 人材確保、働き方改革	火災予防、 消防体制整備

Aレベル……行政サービスにおける現場の改善等にかかる課題

B・Cレベル…政策的な変革課題(Cはより広域、将来を見据え、全庁横断的な視点を要する等)

(2)主な課題・取組内容等

・課題A 若手職員の育成と柔軟な発想の活用(資料1のP3)

○若手職員の育成と柔軟な発想を組織運営に活かすため、「消防未来創造プロジェクトチーム」を設置し、現場視点での改善提案を業務に反映させる取組みを進めている。

○令和7年度は、DX推進と女性消防職員がより活躍できる環境づくりをテーマとして、提案を活かしながら組織力強化を図る。

・課題B 増加を続ける救急需要の対策(資料1のP4)

○救急出動件数が過去最多を更新し続けており、現場までの到着時間や病院に収容するまでの時間が延伸するなど、迅速な対応が課題となっている。

○そのため、R7年度については、以下の取組みを行う。

- ・AI 実証結果を踏まえ、救急車の増台を柱とした救急体制の再構築を図る。
- ・マイナ保険証を活用した患者情報共有など DX を推進し、重症患者の生存率向上を図る。

・課題C 木造建築物が密集する地域に対する火災予防対策(資料1の P8)

○大規模火災リスクの高い木造密集地域においては、市民の防火意識向上が重要であり、都市整備とも関連する課題である。

○そのため、R7年度については、以下の取組を行う。

- ・地域・警察・消防が連携した防火啓発を継続するとともに、「防火指導の強化」「査察の強化」「地域が自主的に防火に取り組む仕組みづくり」の3本を柱とする取組みを推進する。
- ・VR を活用した体験型啓発を導入し、火災の恐怖を実感できる機会を提供する。
- ・他都市の先行事例を調査し、本市における火災リスク低減の取組みに向けた参考とする。